



『旧音羽楼跡地の緑を守るデザインを考える』

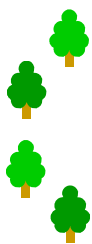
## ワークショップのお知らせ

『音羽楼』として地元の人々に親しまれた葉山一色・森山神社参道沿いの旧玉塚栄次郎別荘が昨年取り壊され、宅地開発業者により9区画に分割されるという計画が持ち上がりました。この計画は敷地内の樹木をほぼすべて伐採し、森山神社参道に車を通すというもので、これに反対する住民が『音羽楼跡地開発を考える会』を立ち上げ、参道沿いの緑を守るべく、宅地開発業者と交渉を行いました。

『音羽楼跡地開発を考える会』の考えに賛同した私ども(株式会社アビターレ)は、敷地を一括で買い取り、参道沿いの樹木をはじめできるだけ多くの緑を維持した賃貸住宅プロジェクトを提案し、考える会の皆様の賛同を得て、今年2月末より基本設計を行ってまいりました。当プロジェクトの主なテーマは下記のとおりです。

- ♣参道沿いの樹木をはじめ、可能な限り既存の状態を維持する。
- ♣周辺環境や葉山のまち並みに馴染んだ住宅および境界部分のデザインを目指す。

このテーマ、とりわけ敷地と参道および道路の境界部分のデザインについて周辺住民の皆様、森山神社・旧音羽楼跡地と縁のある方々とともに考える機会を持ちたいと考え、下記のとおりワークショップを企画いたしました。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。



●日時:平成20年12月7日(日) 午後2時~午後5時

●場所:一色会館

●ファシリテーター:伊藤雅春

●主催・問合せ:(株)アビターレ Tel:03-5483-3335



\* 敷地内の樹木は可能な限り残す計画ですが、残念ながらすべてを残すことはできません。  
12月7日(日)午前11時~午後1時に、旧音羽楼跡地で残すことのできない樹木の里親募集の受付を行いますので、よろしければぜひこちらもご参加ください。

(詳しくは、『旧音羽楼跡地 樹木の里親募集イベント』のポスターをご覧ください。)

\* 伊藤雅春/大久手計画工房。東京工業大学非常勤講師、日本建築士会連合会まちづくり委員など。  
主な著書「参加するまちづくり—ワークショップがわかる本」(百の知恵双書)など。  
1956年生 愛知県 名古屋工業大学卒 建築家